



地域とのつながりを大切にしています

▲地元の子ぎり絵教室生の作品を展示するなど、地域とのつながりを大切にしている前浜郵便局（小野山豊局長）では、1月12日に鏡開きを行い、来局者にぜんざいをふるまいました。この日は、大瀬保育所の園児33人も招かれ、お祝いとおかわりをする子もいました。

中・高校生らが雨の中を激走

▼1月18日、県農業技術センター周辺で「南国市ロードレース大会」が開かれ、中学・高校生から一般までの126人のランナーが、雨にも負けず日ごろの練習の成果を競いました。各部門の優勝者は次のとおりです。

◆中学1年男子(3km)＝森尾大次郎(香長)◆同2・3年男子(5km)＝中澤将史(香長)◆同女子(3km)＝浜田美世(香長)◆高校・一般女子(3km)＝伊藤由美(明徳)◆高校男子(10km)＝川村和也(高知工)◆一般男子(10km)＝松本幸(久礼田体育会)



県内外のランナー160人が健脚競う

▶元旦の風物詩、「第33回飯岩マラソン大会」が開かれました。午前11時、県内外から参加した約160人のランナーが一斉にスタート。雨の中をそれぞれのペースで走り抜き、全員が完走しました。

各部門の優勝者は次のとおりです。

◆一般男子＝宇智勇介(くろしお通信)◆高校男子＝真辺章輔(高知工)◆壮年男子1部＝浜田剛(明見)◆同2部＝長谷川隼二郎(野市)◆中学男子＝中澤将史(香長)◆一般女子＝浜田雅子(同豊町)◆壮年女子＝西原薫子(奈路)◆中学女子＝森尾麻美(香長)◆小学男子高学年＝野村哲矢(三和)◆同低学年＝林ゆう平(同豊)◆小学女子高学年＝小松実恵子(埼玉県)◆同低学年＝高芝香織(長岡)



適切な運営や維持管理に努めます

▲1月5日、香南清掃組合で火入れ式が行われました。ことしは、年々増加する年末年始のゴミに対処するため、初日は前日から火を入れましたが、組合長である浜田市長から「適切な組合運営と維持管理をしっかり」と励まされ、訓示がありました。



一人暮らしのお年寄りにお弁当を

▲市内各地区で一人暮らしのお年寄りを対象に、月一回の給食サービスが行われています。これは、お弁当を届けることで、お年寄りとおふれあい、さらに福祉に関心をもちてもらおうと、各地区の社会福祉協議会・食生活改善推進協議会の会員や民生委員などが中心になり行っているものです。

昨年(2009年)の12月25日には、三和地区のお年寄りに手作りのお弁当が配られました。お弁当を受け取ったお年寄りは、「一人暮らしだと食事もおろそかになりがち。月一回とはいえ、こうしてわざわざ届けてもらえるなんて、とてもありがたい」と感謝していました。



この1年の健康を願い、走り初め

▲南国市体育始め(市体育協会などの主催)が1月4日、開かれました。午前9時30分、市庁舎前に集まった、カラフルなウインドブレーカー姿の中学生からお年寄りまでの約350人の参加者を前に、浜田市長は「輝かしい新年、ともに第一歩を踏み出しましょう」と、あいさつ。参加者らは、健康文化都市シンボルマーク入りの、はち巻きを締め、入念な準備体操の後、市長を先頭に出発。途中、日吉神社でこの一年の健康を祈願し、威勢のよいかけ声とともに後免商店街を駆け抜けました。



なんこく共同作業所 増築工事が起工

▲知的障害者の通所作業所として、運営されてきた「なんこく共同作業所」の増築工事が決まり、12月18日、関係者約40人が出席して起工式が行われました。

ことし6月には鉄骨2階建て、延べ床面積、約387㎡のりっぱな建物が完成。これにより作業所は、無認可施設から認可の通所作業施設に移行、名称も「香南くろしお園分場なんこく」と改められます。

▶大塚小学校で2月6日、新規購入の消防車入魂式・出初め式が、消防署・十二の消防分団・婦人防火クラブなどから約四百人が参加して行われました。

出初め式では、署員・団員の服装点検や、消防車などの機械器具を点検した後、模範操法・消火訓練・永年勤続表彰などが行われました。



防災への使命感高めた消防出初め式



和やかに男女でタスキリレー

▲1月3日、「第14回久礼田ミックス駅伝」がA南国市久礼田支所前を発着点とする5区間、7.5kmの同コースで開催されました。

駅伝終了後には交流会も開かれ、参加者らは久礼田ママさんバレー部員ら地域の女性の手料理を味わいました。成績は次のとおりです。

1位＝奈路ファミリー・2位＝南国陸上クラブ・3位＝久礼田体育会
《区間賞》1区＝松本幸(久礼田体)・2区＝西原薫子(奈路7)・3区＝西原三登(奈路7)・4区＝崎弘子(奈路7)・5区＝徳久隆(南国陸上ク)

七草がゆで1年の無病息災を祈願

▲「七草」前の1月5日、国分寺で新春恒例の「第28回若菜摘み俳句会」(国府梵鐘句会の三節)が開かれ、市内外の俳句愛好者ら約120人が参加しました。

午前10時すぎ参加者は、国分川沿いや紀貫之邸跡などを散策。俳句を作りながら春の七草(セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ)を摘み、早速、境内で七草がゆにして新春の味を楽しみました。

この後、俳句会を開き、それぞれが10句を詠み、互いに作品を披露しました。

